**県士会向け☆発達協会主催2017年度「春のセミナー」開催のご案内**

**お申し込みお待ちしております！**

**発達協会HP：**[**http://www.hattatsu.or.jp/**](http://www.hattatsu.or.jp/)

2月3日（土）

Ｂ　あそびを通した発達支援－感覚と社会性の視点から

子どもの発達に欠かせないあそび。しかし発達障害・知的障害があるために、あそびが広がりにくい子どもがいます。まずは子どもの発達、認知の特性を理解することが大切です。子どもへの理解をふまえ、感覚と社会性のふたつの視点から、あそびについて学びます。現場で活かすことのできる事例も、豊富に紹介する予定です。

1．発達障害・知的障害のある子どものあそびとは－「感覚」への理解をふまえて考える

伊藤祐子　（首都大学東京／作業療法士（認定）・日本感覚統合学会インストラクター）

2．発達障害・知的障害のある子どものあそびの実際－「感覚」を磨くために

伊藤祐子　（首都大学東京／作業療法士（認定）・日本感覚統合学会インストラクター）

3．ルールのあるあそびを教えるコツ－社会性の視点を中心に

大畑豊　（子どもの心と発達の相談ルームここケット／臨床心理士）

2月4日（日）

Ｄ　不注意な子への理解と支援－「集中困難・忘れっぽさ」のメカニズム

集団の中で話を聞けない、やるべきことを最後までできない、忘れ物が多いといった子どもがいます。彼らの行動の背景にある特性とは何なのでしょうか？　合理的配慮が求められる時代です。これまで以上に彼らの特性を踏まえた対応が求められます。もちろん、彼らの特性をプラス方向に捉えることも大切。教育的な対応、配慮とともに、医学の視点からも不注意さについて学びます。

1．注意・集中のコントロールが弱い子への支援１－不注意の要因と基本となる対応

長澤正樹　（新潟大学／上級教育カウンセラー・ガイダンスカウンセラー・特別支援教育士SV）

2．注意・集中のコントロールが弱い子への支援２－アセスメントから導く支援の実際

長澤正樹　（新潟大学／上級教育カウンセラー・ガイダンスカウンセラー・特別支援教育士SV）

3．ＡＤＨＤの不注意／過剰集中とは－ＡＤＨＤのよい点に目を向ける

今村明　（長崎大学／医学博士・医師）

2月18日（日）

Ｈ　応用行動分析から学ぶ療育の基礎－コミュニケーションと行動面の課題を中心に

何度注意しても子どもが不適切な行動を繰り返す、子どもにルールを伝えられない、といった悩みを抱えている方はいませんか。このセミナーでは、応用行動分析の枠組みを用いて子どもへの指導・支援の方法をお伝えします。経験の浅い先生方へもわかりやすく解説する基礎講座です。また、改めて知識、経験を整理したい先生方へもお勧めします。

1．障害特性の理解と応用行動分析の基本

山本淳一　（慶應義塾大学／文学博士・臨床心理士・臨床発達心理士）

2．コミュニケーション面へのアプローチ－事例も含めて

山本淳一　（慶應義塾大学／文学博士・臨床心理士・臨床発達心理士）

3．行動面へのアプローチ－事例も含めて

山本淳一　（慶應義塾大学／文学博士・臨床心理士・臨床発達心理士）

**☆その他にも様々なテーマで講座を行っております。詳しくはHPをご覧ください。**

★**お申込み方法**

《申し込み》**お電話・ＦＡＸ・発達協会ホームページ**から、お申し込みいただけます。

　　　　　　・電話：03-3903-3800

　　　　　　・Fax ：03-3903-3836

・HP　：http://www.hattatsu.or.jp/

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナーを申し込むことはできません。

・申し込みの殺到が予想されるセミナーもございます。お早めにお申し込み下さい。

《時間》各日10:15～16:20

《定員》約250名（定員になり次第、随時締め切ります）

《会場》東京ファッションタウン（ＴＦＴ）ビル東館　９階研修室

　　　　東京都江東区有明3-6-11

《受講料》各9,050円（税込）（会員8,220円（税込））